

表題：立坑内揚重作業時の『クレーンフック』の見える化

概要：

当現場では立坑内への揚重作業に 120 t クローラークレーンを使用している。

資機材搬出入時に吊荷が見えない為、無線合図に加えてクレーンブームにカメラを設置し、中の作業を映像で確認している。しかし、吊荷やフックが床面の色と同化して見え辛いことがあることから、吊荷の位置がより分かるようにクレーンフックの頭頂部をカメラに映り易い白色に塗装し見える化を図った。



【写真－１】立坑内のフック



【写真－２】クレーン内のモニター映像